



新年あけましておめでどうござ

います。読者の皆様におかれましては、健やかに良き新年をお迎えのことと心より喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、野木

町煉瓦窯がランドオープンから1年を迎え、これまで県内外から多くのお客様にご来場いただいております。そして5月には野木町煉瓦窯と渡良瀬遊水地が「野木町煉瓦窯&ハート池」という名称で「恋人の聖地」に

認定され、若者へアピールできる材料がひとつ増えたことは大変喜ばしいことであります。今後も様々なイベントを企画してまいりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催する町を代表する夏のイベント「ひまわりフェスティバル」と「野木町煉瓦窯を大いに盛り上げ町の認知度アップを図り、多くの方に訪れていただくよう準備を進めてまいります。

また、町の3重点施策である「安全安心のまちづくり」「少子高齢化対策」「町の活性化策」を引き続き推進してまいります。

そのつとして結婚・出産・育児・子育て・教育・医療・介護・障がい・福祉等についてワンストップサービスで相談可能となる「総合サポートセンター」の開設に向けまして力を注いでまいります。

野木第2工業団地に企業を誘致

野木町長 真瀬 宏子

今年4月から6月にかけては、栃木県でDESTINEーションキャンペーンという大型観光企画が開催されます。これを契機に栃木県の南の玄関口である野木町を「ひまわりの里」として宣伝すると共に、7月に

野木町が平成30年度で完了となり、野木駅から約1.7kmに位置し、圏央道境古河IC、五霞IC、東北自動車道佐野藤岡ICからそれぞれ約30分と交通アクセスが優れております。

野木町が平成30年度で完了となり、野木駅から約1.7kmに位置し、圏央道境古河IC、五霞IC、東北自動車道佐野藤岡ICからそれぞれ約30分と交通アクセスが優れております。

「小さくてもキラリと光る野木町」が更にキラキラと輝くために引き続き町政に取り組み参りますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。結びに、読者の皆様のご多幸と、日本工業経済新聞社様のご発展をご祈念いたしまして年頭所感といたします。

全区画予約契約となり、医薬品製造業と生産用機械器具製造業の2企業の誘致が決まりました。

第2期予約分譲におきまして、多方面からお問い合わせをいただいております。早期に予約契約が締結できるよう引き続き企業誘致を推進し、町の活性化と雇用の促進につなげてまいりたいと思っております。